

## 令和元年度 長期フォローアップ・移行期医療委員会活動報告

委員長：大賀 正一 副委員長：松本 公一

委員：石田 也寸志、大植 孝治、上別府 圭子、清谷 知賀子、竹之内 直子、長 裕子、大園 秀一、湯坐 有希、家原 知子、宮村 能子、檜山 英三

オブザーバー：前田 美穂

当委員会の活動概要：

小児血液・がん患児の長期フォローアップ研修(LCAS)と、移行期医療の課題を新委員で共有し検討している。

厚労省委託事業の一環として LCAS 研修を継続している。今年度はコロナウイルスの感染拡大により Web 研修として開始した。広島研修（檜山先生 9 月 15-16 日）、京都研修（細井先生 11 月 7 日）を終了した。今後、東京研修（湯坐先生）および LCAS アドバンス研修を 2021 年 1～3 月に計画している。

日本小児科学会 移行期医療委員会が取り組んでいる支援ガイド作成、HP 掲載にあたり、当委員会より提出されている血友病、ITP、脳腫瘍、それ以外の小児がんの内容等について再確認する予定。

以上